

過去の診療情報及び過去に採取された検体を用いた臨床研究について

虎の門病院臨床感染症科および虎の門病院分院臨床感染症科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2009年3月1日から2018年12月31日までの間に虎の門病院または虎の門病院分院に入院または通院した方の中で *Helicobacter cinaedi*（ヘリコバクター・シネディ）菌の感染症にかかり治療を受けた方。

【研究課題名】

Helicobacter cinaedi 感染症に関する研究

【単独・多施設】

虎の門病院、虎の門病院分院、東京大学医学部との共同研究

【主任研究者】

国家公務員共済組合連合会虎の門病院 臨床感染症科 荒岡秀樹

【自施設研究責任者】

国家公務員共済組合連合会虎の門病院 臨床感染症科 荒岡秀樹

【利用する者の範囲】

国家公務員共済組合連合会虎の門病院分院臨床感染症科 荒岡秀樹

東京大学大学院医学系研究科 内科学専攻 病態診断医学講座 臨床病態検査医学分野
教授 矢富裕

東京大学医学部 感染制御学 教授 森屋恭爾

【研究の目的】

近年、血液培養から *Helicobacter cinaedi* と呼ばれる細菌がしばしば検出されることが認知されてきました。しかしながら、現在のところ感染経路や治療方法など依然として明らかになっていないことが多い状態です。これらを明らかにすることで、今後同様の疾患に

罹患された患者さんの治療に役立つ可能性があります。

【利用するカルテ情報】

診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、血液検査結果、画像検査結果、治療経過、検出された菌に関するデータ

【利用する検体情報】

患者さんから採取された検体より分離・検出された菌 (*Helicobacter cinaedi*) について東京大学医学部と共同研究を行います。具体的には、質量分析器による菌の詳細な解析（菌名の正確な特定）、分子疫学的解析（遺伝子の検査）、薬剤感受性検査（どの薬が効くのかを見る検査）などです。質量分析器による菌の詳細な解析など基礎的な検討は、東京大学医学部において行われます。

【研究実施期間】

2017年4月19日 ～ 2023年12月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は虎の門病院臨床感染症科、荒岡秀樹のもと研究終了後5年間保存いたします。

菌株は虎の門病院で匿名化を行い、研究独自の番号で管理され東京大学医学部へ提供されます。菌株の解析・検査後の取り扱いについては研究責任者の責任の下に、東京大学医学部内で廃棄いたします。

【診療情報・検体（試料）を虎の門病院外へ提供する場合】

診療情報・検体（試料）は、虎の門病院で特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえたうえで、東京大学医学部へ規定に従い3重包装を行い、ゆうパックや宅急便を利用して提供いたします。

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

希望される方には個人情報、知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【問合せ先】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または御自身の診療情報につき、開示

または訂正のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。

御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2017年7月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 臨床感染症科 荒岡秀樹

電話 03-3588-1111(代表)

虎の門病院分院 臨床感染症科 荒岡秀樹

電話 044-877-5111 (代表)